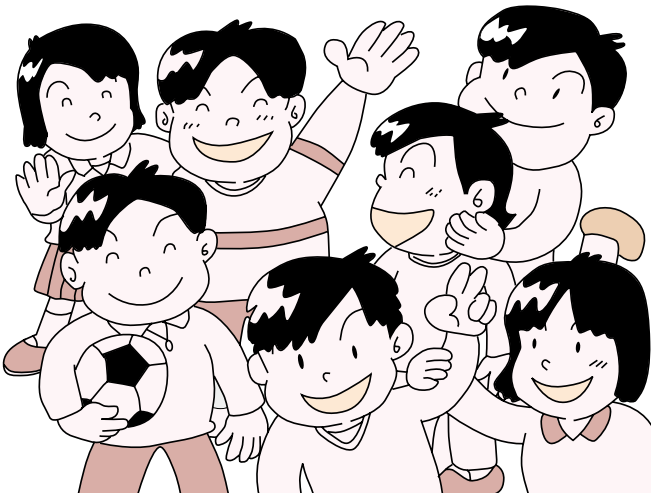


市民リポーター
橋本三代子さん

はしもと みよこ
片倉町在住。42歳。
室蘭市出身。平成14年4
月から幌別西小学校PT
A副会長を務めている。
主婦。



子どもたちの 健やかな 成長のために 子どもたちを取りまく 環境と親の役割

今日、いじめや不登校、少年の犯罪などが社会問題となっています。

大きく変化しているといわれる子どもたちを取り巻く環境と、子どもたちの健やかな成長のため、私たち大人に課せられた役割について、児童・生徒の健全な育成に日々取り組まれている方を訪ねて、レポートしました。



市民レポートは、市民のみなさんが自由に発想・企画するページです。

子どもたちの生活習慣
を見直そう

「登別市は、ほかのまちに比べて、不登校の子は少ない方ですよ」と、市内の不登校の状況について話してくれたのは、市教育委員会教育活動推進アドバイザーの



三木 義勝 さん

三木義勝さんです。

三木さんは、学校や市民を対象に教育やいじめに関する相談指導を担当しています。

現在、市教育委員会では、「不登校・いじめ等対策会議」（校長会と教頭会の代表などで構成）を設けて、啓発活動や教職員研修、情報交流、不登校児童生徒の父母との懇談会を開催するなど、不登校やいじめなどの対策を行っています。

「不登校の子どもに限らず、体と心にエネルギーが出せない子どもが多くなっているように感じます。これといった原因も見当たらず、その子自身も理由がつかめな

いまま学校に行けないといったケースもあります。体力不足や生活習慣などが影響しているようにも感じますね。不登校やいじめの場合、その要因はさまざま。しかし、親のかかわり方を考えることで、良い方向へ向かうケースも少なくありません。就学前までには、運動能力や正しい生活習慣を身に付けさせるといったことから考えてみてはいかがでしょうか」と三木さんは話してくれました。

子どもたちに「悩む力」
をはぐくんであげよう

菊池浩光さん（日網記念病院・臨床心理士）は、平成8年から市教育委員会スクールカウンセラー。



菊池 浩光 さん